

# 未来の子どもたちに美しい自然を残すために、 お客様と一緒に低炭素社会の構築を推進します。

ユニー株式会社代表取締役社長 前村哲路



## エコ・ファースト企業としての使命

●百瀬 ユニーは環境に対して先進的に取り組んでいる企業として、総合小売業から「エコ・ファースト企業」第1号に選ばれました。食品リサイクルの分野でのトップランナーであると認められたわけですが。

●前村 ユニーは食品を取り扱う小売業として、店舗から排出する生ゴミをできるだけ削減し、またリサイクル資源として活用する努力をしてきました。排出した生ゴミを堆肥にリサイクルして、それを使って農業者の協力で野菜を栽培し、再び店舗で販売するという食品リサイクルループの完成により、2007年1月に「再生利用事業計画認定第1号」になりました。これは、2001年の食品リサイクル法施行以来初めての認定です。結構苦労しましたね。

●百瀬 はい、ユニーに環境部ができたのが2001年、それ以来ずっと「食品リサイクルループ」構築のために努力してまいりましたが、ようやく完成したのです。

●前村 ユニーの食品リサイクルループは、生ゴミをリサイクル

するだけでなく、生ゴミを原料にした堆肥を使って「安全安心な新鮮でおいしい野菜」をお客様に提供し、喜んでいただくことを目的にしていますね。そして、その野菜の生産は近隣の農協に協力していただいているので、本当の「地産地消」になったということです。これらの成果が認められ、2007年10月には「第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞」の最優秀賞を、食品リサイクルループを構築したパートナー、愛知県経済連とヒラテ産業（堆肥を製造した再生利用事業者）と一緒に受賞することができたのです。

●百瀬 これらの実績で「エコ・ファーストの約束」を環境大臣と交わすことになったのですね。今後は食品リサイクルの環を各地に作り上げ、更にリサイクル率を向上することを約束しています。また、この約束には食品リサイクル以外にも、環境に対する取り組みがあります。

●前村 そうですね、家庭から出るゴミの60%が商品などの容器包装だといわれていますが、これらをいかに削減していくかということも、約束のひとつです。特にお客様と一緒に進めていく環境活動として、「レジ袋を使わないお買い物」を各地で展開していますね。レジ袋は便利ですが、使用後はプラスチックゴミに